

全国重粒子線治療施設設立者協議会
設立記念シンポジウム

平成29年7月6日(木)
発明会館 地下ホール



全国重粒子線治療施設設立者協議会設立記念シンポジウム
プログラム

全国重粒子線治療施設設立者協議会

趣旨説明

1994年に世界初の重粒子線がん治療装置が日本で開発されて以来、これに携わる多くの方々の長年のご尽力により目覚ましい成果が上がるとともに、それら成果に基づき平成28年度から炭素線治療の一部疾患が保険収載となりました。現在日本国内5箇所の重粒子線がん治療施設が稼働中であり、さらに2施設の建設が進むなど、本治療もますます研究段階から日常の治療へと移行していることが多数の国民の皆様にも認知されつつあるところかと思えます。

一方で、社会での存在感が増すとともに遂行に携わる治療施設への各方面からの要請、期待のレベルもますます高まっております。治療施設の個々の努力だけでなく治療施設同士の一層の協力体制の強化の必要性も痛感してきたところです。今後の普及発展に各施設でどのような対応をすることが適切かを議論する場が必要との有識者のご意見や、それらの対応のためにより高いレベルで意見形成をする場も必要との多くの治療施設現場担当者の思いもございました。

このような皆様からのご意見、思いを踏まえ、現在の重粒子線治療施設を設立した機関の代表者が集う協議会を今回設立させていただいた次第です。会の構成員は、施設稼働順に、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、兵庫県、国立大学法人群馬大学、公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団、地方独立行政法人神奈川県立病院機構の5機関です。また、今後稼働する施設の機関にも順次ご参加をお願いすることを予定しております。

本協議会では、対応すべき課題についてテーマを絞り調査、研究の上、見解をとりまとめ、各施設に提示するとともに社会に公表していくことで、本治療法の普及に貢献することを目指しております。関係する方々に本趣旨をご理解、ご賛同いただき、今後の活動にご協力いただくことを切にお願い申し上げます。

全国重粒子線治療施設設立者協議会
会長 平野俊夫
(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構理事長)

第一部 10:00-11:42

「本協議会の目指すもの」

- | | | |
|------------|--------------------|------------------|
| 10:00 (10) | 開会挨拶 | (平野俊夫 協議会会長) |
| 10:05 (10) | 来賓挨拶 | |
| 10:20 (40) | 重粒子線がん治療の概要 | |
| | - 開発成功までの歴史 | (野田耕司 量研放医研所長) |
| | - 現在の臨床結果 | (鎌田 正 J-CROS 代表) |
| 11:00 (30) | 各施設の特徴と方向性 | |
| | - 兵庫県粒子線医療センター | (沖本智明 院長) |
| | - 群馬大学重粒子線医学研究センター | (中野隆史 センター長) |
| | - 九州国際重粒子線がん治療センター | (塩山善之 センター長) |
| | - 神奈川県立がんセンター | (大川伸一 病院長) |
| 11:30 (10) | 協力企業への感謝状贈呈 | (平野俊夫 協議会会長) |
| 11:40 (2) | 第二部のご案内 | |

昼食 (記者会見 11:45-12:15)

第二部 13:00-17:00

「重粒子線がん治療の普及展開への課題と展望」

- | | | |
|------------|---------------------|-------------------------------|
| 13:00 (15) | 重粒子線がん治療の研究の歴史 | (辻井博彦 神奈川県立がんセンター重粒子線治療センター長) |
| 13:15 (45) | 現在の臨床成績の総括 | (鎌田 正 J-CROS 代表) |
| | - トピック1 (膵がん国際共同研究) | (山田 滋 量研放医研消化器腫瘍科長) |
| | - トピック2 (頭頸部がん) | (小藤昌志 量研放医研頭頸部腫瘍科長) |
| | - トピック3 (肺がん1日治療) | (山本直敬 量研放医研呼吸器腫瘍科長) |
| 14:00 (10) | 臨床成績に関する質疑応答 | |
| 14:10 (30) | 海外の状況 | (北川敦志 量研重粒子線がん治療普及推進ユニット長) |
| | - 米テキサス大南西校の計画 | (Hak Choy 放射線科長) |
| | - 韓国延世大の計画 | (Yong Bae Kim 放射線腫瘍科長) |
| | - 質疑応答 | |
| 14:40 (20) | 新規研究開発への期待 | (野田耕司 量研放医研所長) |
| 15:00 (20) | 休憩 | |
| 15:20 (80) | パネルディスカッション | |
| | - がん治療全体に占めるべき位置 | |
| | - 普及展開への課題 | |
| | パネリスト：(司会 辻井博彦 | 神奈川県立がんセンターセンター重粒子線治療センター長) |
| | (外科：宮崎 勝 | 国際医療福祉大学副学長) |
| | (内科：大川伸一 | 神奈川県立がんセンター病院長) |
| | (放射線科：長谷川正俊 | 奈良県立医科大学医学部放射線腫瘍医学講座教授) |
| | (医療経済：川渕孝一 | 東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授) |
| | (重粒子：鎌田 正 | J-CROS 代表) |
| 16:40 (10) | 協議会の今後への抱負 | (土屋了介 協議会副会長) |

懇親会 17:30-